

平成30年度(2018年度)

管理事業名	し尿処理事業			総合計画の体系	第5章 環境を守り育てるまちづくり 第3節 循環を基調とするまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 2	清掃費 (目) 3 し尿処理費
部局名	環境部	予算執行所属		事業課	
予算大事業名 し尿収集運搬処理事業 事業課業務グループ庁舎施設管理事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)衛生費(項)保健衛生費(目)公衆便所維持管理経費 公衆便所維持管理事業			
<b>事業の目的と概要</b> 【目的】 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び浄化槽法に基づき、し尿及び浄化槽汚泥等の適切な処理を図り、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的としています。 【概要】 ・し尿収集運搬処理事業 (一般家庭や事業所及び工事現場等仮設トイレのし尿収集運搬処理や、浄化槽の清掃受付及び浄化槽汚泥等の投入) ・事業課業務グループ庁舎施設管理事業 (し尿及び浄化槽汚泥等の搬入受入れの施設として、適正な管理運営) ・公衆便所維持管理事業 (高浜神社内の公衆便所の維持管理)					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
し尿収集延件数	件	9,211	8,870	8,538	年間し尿収集延件数
浄化槽清掃受付延件数	件	411	424	424	年間浄化槽清掃受付延件数
成果の説明	・し尿の収集は、地域ごとに収集日を定めた2週間に1回の定曜日収集とあわせて、工事現場等の仮設トイレの収集を行っています。し尿収集延件数は転出や家屋取り壊し等で減少傾向です。 ・浄化槽の清掃は浄化槽清掃業許可業者から清掃受付を行い、汚泥の受入れを行っています。浄化槽の設置基数は若干減少していますが、マンションやビル等の清掃受付が年度により変動があります。今年度の清掃受付延件数は昨年同件数です。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
<b>使用料及び手数料</b>	<b>3,612</b>	<b>4,746</b>	<b>5,129</b>	<b>382</b>
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	142	155	157	2
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	50	1	-	△1
経常収入 小計(a)	3,804	4,902	5,286	383
給与関係費	36,045	43,581	43,941	360
物件費	29,130	29,186	29,153	△33
<b>維持補修費</b>	<b>1,008</b>	<b>457</b>	<b>2,309</b>	<b>1,853</b>
社会保障扶助費	-	-	-	-
<b>負担金・補助金・交付金等</b>	<b>6,798</b>	<b>7,325</b>	<b>7,453</b>	<b>128</b>
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	5,436	5,436	5,436	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,090	3,759	3,918	159
退職手当引当金繰入額	2,496	9,787	3,377	△6,411
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	84,003	99,531	95,588	△3,944
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△80,198	△94,629	△90,302	4,327
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△80,198	△94,629	△90,302	4,327
一般財源充当額	75,548	82,777	85,515	2,737
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△4,650	△11,852	△4,787	7,064

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 使用料及び 手数料	し尿処理手数料 5,119千円 許可書再交付申請手数料10千円
経常費用 維持補修費	トラックスケールオーバーホール・代行検査 994千円 管理棟漏水に伴う給水管取り替え修繕 972千円
経常費用 負担金・補 助金・交付 金等	し尿処理負担金 7,453千円 (し尿浄化槽汚泥等の搬入量の増)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
<b>行政サービス活動収入</b>	<b>3,754</b>	<b>4,902</b>	<b>5,286</b>	<b>383</b>
<b>行政サービス活動支出</b>	<b>79,303</b>	<b>87,680</b>	<b>90,800</b>	<b>3,120</b>
行政サービス活動収支差額	△75,548	△82,777	△85,515	△2,737
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△75,548	△82,777	△85,515	△2,737
一般財源充当額	75,548	82,777	85,515	2,737
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動収入) し尿処理手数料 5,119千円 (行政サービス活動支出) し尿収集運搬業務委託料 25,553千円
--------------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
し尿及び浄化槽汚 泥等1%あたりのコ スト	平成28年度	1,799,010 円	47 円	し尿及び浄化槽汚泥等1%あたり48円のコストがかかっています。主に、退職手当引当金繰入額減によるものです。
	平成29年度	1,952,430 円	51 円	
	平成30年度	1,982,410 円	48 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,759	3,918	159
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,759	3,918	159
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	197,713	192,277	△5,436	その他流動負債	-	-	-
土地	134,145	134,145	-	固定負債	40,691	39,883	△807
建物・工作物	63,568	58,132	△5,436	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	40,691	39,883	△807
無形固定資産	50	50	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	44,450	43,801	△648
建物・工作物	-	-	-	純資産	153,313	148,526	△4,787
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	153,313	148,526	△4,787
資産の部合計	197,763	192,327	△5,436	負債及び純資産の部合計	197,763	192,327	△5,436

III 財務構造分析

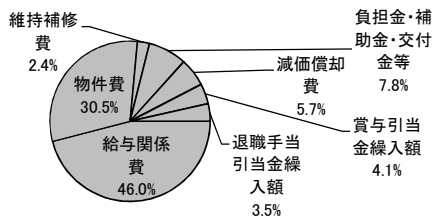
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
6人	6人	人	日	人	51,237
給与関係費等	51,237千円	千円	千円	千円	51,237
内、時間外勤務手当	766千円				

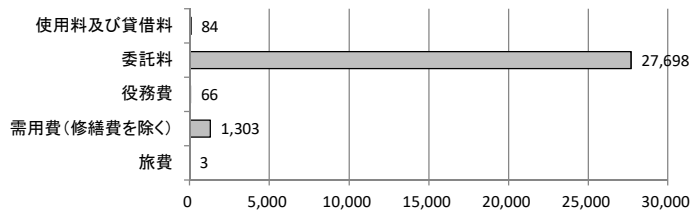
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	事業課業務グループ庁舎減価償却による5,436千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	事業課業務グループ庁舎
取得年月日	昭和51年(1976年)5月1日
建物・工作物の取得価額	520,380 千円
建物・工作物の減価償却累計額	462,248 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率	0.2	0.1	0.4	0.3
施設老朽化比率	86.7	87.8	88.8	1.0
受益者負担比率	4.3	4.8	5.4	0.6
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	95.3	94.4	94.2	△ 0.2
経常費用対公共資産比率	16.1	19.1	18.4	△ 0.7

【参考:市保有施設全体の老朽化率は56.2%】

IV 総括

▽分析結果の説明

経常収入の内訳につきましては、使用料及び手数料のし尿処理手数料が5,119千円、府支出金の移譲事務交付金が157千円となっています。経常費用の構成割合は、給与関係費43,941千円(46.0%)の占める割合が高く、ほか物件費29,153千円(30.5%)、負担金・補助金・交付金等7,453千円(7.8%)、減価償却費5,436千円(5.7%)などとなっています。物件費の主な内訳としては、委託料が95.0%で多くを占め、主な内容はし尿収集運搬業務委託料が25,554千円、庁舎機械警備業務委託料などの施設管理委託料が2,144千円となっています。減価償却により建物資産が5,436千円減少し、58,132千円となっています。事業課業務グループ庁舎の老朽化率は88.8%で、市保有施設全体の老朽化比率56.2%と比べると、32.6%も老朽化率が進行している施設です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び浄化槽法に基づき、くみ取り世帯等のし尿収集及び浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を目的とした事業です。また、公共下水道普及に伴い、し尿収集件数や収集量が減少していくなかで、し尿収集運搬業務の全面委託化やし尿処理施設の廃止をして、下水処理場へ直接投入処理に変更する等し尿処理に係るトータルコストの削減や事業の効率化を図ってきましたが、下水道未整備地域の世帯や工事現場等仮設トイレのし尿収集、災害時に備えてし尿収集体制の確保等、安定的な事業運営が重要と考えます。

事業課業務グループ庁舎は、平成15年度末で廃止になった旧化学処理場(し尿処理施設)を使用しており、建設後43年が経過し施設の老朽化対策が必要となっていますが、し尿や浄化槽汚泥を下水処理場で処理するのに必要な計量室や投入口を備えていることから、大規模修繕や建替え等施設の課題を整理する必要があります。